※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	母語中国語初級	2	2	自主作成教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国にルーツのある生徒は、日本に来て長い年数使うことがなければ、中国語を次第に忘れていく。同時に、文化的なアイデンティティも失っていく。しかし、日本語を学んでいくにしても、その基礎として、母語である中国語の力が必要になる。また母語は、保護者や、同じルーツの仲間とのコミュニケーションにも必要不可欠である。さらに、母語を実用レベルで維持することは、これからの人生において大きな武器となり、将来の進路の可能性を開くことにもつながる。

これらの理由から、中国にルーツのある生徒を対象に、母語中国語の講座を開講している。

講座では、言語とともに、その背景にある文化についても広く扱っていく。学習した内容をしっかりと身につけ、自分のルーツに自信を持てるように取り組んでいってもらいたい。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・初めて聞く内容でも、ゆっくりはっきりと話されれば、概要を理解することができる。 ・学習した単語や文法を、正確に聞き分けることができる。 ・聞き取った情報や考えなどを的確に理解することができる。	・平易な文章を読み、内容について理解することができる。 ・文学作品や現代小説を読解し、内容を理解して楽しむことができる。 ・古典や名作などを時間をかけて精読し、背景にある文化を理解することができる。	・積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 ・基本的な会話の表現を身につけ、臆せず使用することができる。 ・本に書かれている程度の内容についての問いかけに対して、適切に答えることができる。	・自分の考えを簡単な会話で伝えることができる。 ・既習の表現を使って自分の考えをプレゼンテーションすることができる。 ・やや高度な内容について、論理的に説明し伝えることができる。	・自分のことや身近なトピックについて、既習の表現を活用して書くことができる。 ・筋道を立てた分かりやすい文で、まとまりのある段落を1～2つ書くことができる。 ・自分の考えを論理的に整理し、それを小論文の形でまとめることができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な単語を覚え、理解して用いることができている。 ・中国語で書かれた文を理解し、内容を把握している。また、既習の表現を活用し、文を組み立てることができる。	・授業中に発話される基本的な中国語の指示を理解し、その通りに行動することができる。簡単な質問に対して、中国語で答えることができる。 ・自分や身の回りのことについて、簡単な中国語を用いて表現することができる。	・授業中に積極的な質問や意見を発信し、コミュニケーションを取ることができる。また、教師の発言や指示をしっかりと聞くことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	叙述文 散文 (中国の 教科書 より)	聞くこと	a:　中国語の音声の特徴（リズム・四声）を理解している。 b:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取っている。 c:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 作品に登場する基本的な単語や表現を理解している。 b: 作品を読んで文脈や意味を理解し、概要を捉えている。 c: 作品の表現から意味を読み取って概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: 作品に関する質問を理解し、答えることができる。 b: 作品について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 作品について、語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 自分の意見をまとめて記述する技能を身に付けている。 b: 自分の意見や感想を、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分の意見や感想を、読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	中国の 歴史や 地理	聞くこと	a:　中国語の音声の特徴（リズム・四声）を理解している。 b:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取っている。 c:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 作品に登場する基本的な単語や表現を理解している。 b: 作品を読んで文脈や意味を理解し、概要を捉えている。 c: 作品の表現から意味を読み取って概要を捉えようとしている。	定期テスト （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: 作品に関する質問を理解し、答えることができる。 b: 作品について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 作品について、語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 自分の意見をまとめて記述する技能を身に付けている。 b: 自分の意見や感想を、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分の意見や感想を、読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング課題
	期末考査			
後期	漢詩 （李白、 杜甫、 王維　等）	聞くこと	a:　中国語の音声の特徴（リズム・四声）を理解している。 b:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取っている。 c:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 作品に登場する基本的な単語や表現を理解している。 b: 作品を読んで文脈や意味を理解し、概要を捉えている。 c: 作品の表現から意味を読み取って概要を捉えようとしている。	定期テスト （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 作品に関する質問を理解し、答えることができる。 b: 作品について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 作品について、語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 自分の意見をまとめて記述する技能を身に付けている。 b: 自分の意見や感想を、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分の意見や感想を、読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	魯迅『阿Q 正伝』	聞くこと	a:　中国語の音声の特徴（リズム・四声）を理解している。 b:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取っている。 c:　教科書の題材について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 作品に登場する基本的な単語や表現を理解している。 b: 作品を読んで文脈や意味を理解し、概要を捉えている。 c: 作品の表現から意味を読み取って概要を捉えようとしている。	定期テスト （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: 作品に関する質問を理解し、答えることができる。 b: 作品について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 作品について、語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 自分の意見をまとめて記述する技能を身に付けている。 b: 自分の意見や感想を、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分の意見や感想を、読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度